



After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング トレンドリサーチレポート 2020年8月発行

mct



目次



プロジェクト企画概要	003
------------	-----

レポート

-Big Picture	017
-Meaning of Life	023
-A Day in the Life	042
-Making New Things	065

プロジェクト企画概要



どうすれば社会を

よりよい方向に導くことができるだろうか？



コロナウイルスの広がりが
社会変革の転換点となりつつある。

「会社に行かなければ仕事はできない」

「対面でなければ気持ちは伝わらない」

これまで慣例的に続けられてきた習慣や
当たり前だと思われてきた既成概念が
いとも簡単に崩れつつある。

一方で危機的状況を回避するスタイルを探索し、
これまでとは異なる生活や働き方が生まれつつある。

コロナショックのあと、果たしてどのような
ライフスタイル・ワークスタイルが生まれていくのか、
また新しいトレンドに対して
我々はどのように貢献していくことができるのか。

生活者のインサイトを通じて将来像を描く、
未来探索プロジェクト。

アフターコロナビジョニングとは？



After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング

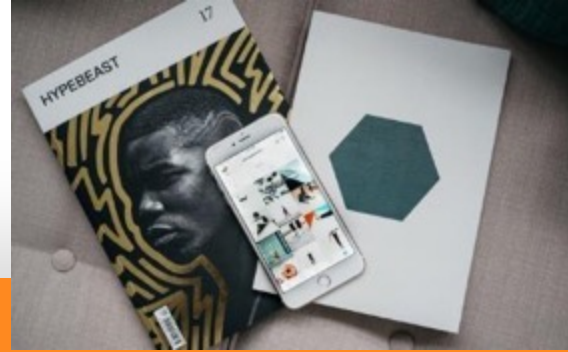
コロナショックをテーマに株式会社mctが主催するデザインリサーチプロジェクトです。
大きく3つの活動を通じてアフターコロナの未来創造を支援します。

アフターコロナビジョニングとは？



デジタルデザインリサーチ

生活者の今の変化の先を捉え、変化の先に現れる新しい課題を理解するためのデザインリサーチ活動をオンライン公開します。



トレンドリサーチレポート

デザインリサーチを通じて弊社が分析したアフターコロナのインサイトレポートを発行し、企業の未来洞察に貢献します。



ビジョニングWS

社会変革の兆しを捉え、未来でどのような役割を果たすべきなのか、アフターコロナの未来を探索するWSで企業の方針策定を支援します。

- ・生活者を中心に考える
- ・生活者の今の変化の先を捉え、未来創造に貢献します
- ・変化の先に現れる新しい課題を理解し、課題解決に寄与します



本プロジェクトで明らかにすること

- ・生活者にとって大切なことは何か？
- ・生活者の価値観や優先順位はどのように変化していくのか？
- ・生活者の行動はどのように変化していくのか？
- ・生活者にとって変わらないことは何か？
- ・よりよい生活をしていくうえで何が障壁になっていくのか？
- ・よりよい生活に近づいたのか？遠ざかったのか？
- ・それは何が起因しているのか？

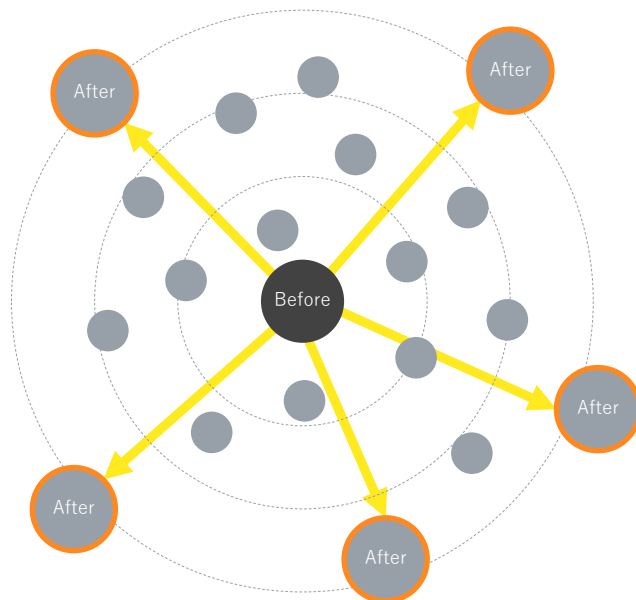


アプローチ

コロナショックで大きな変化を経験したさまざまなライフステージの生活者を深く理解し、未来洞察の兆しを獲得。兆しの先にいるエキスパート・エクストリームユーザー（国内／海外）に追加調査を行い、アフターコロナ後の未来洞察につなげます。

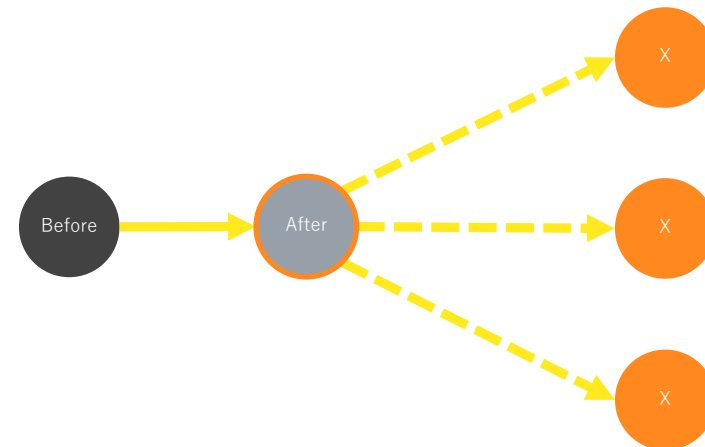
リードユーザーリサーチ

大きな変化を経験した生活者への定性調査

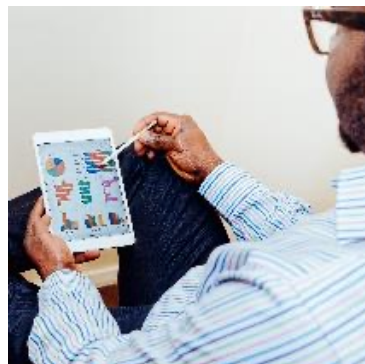


エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ

未来洞察の兆しの先にいる生活者への定性調査



アプローチ1：リードユーザーリサーチ



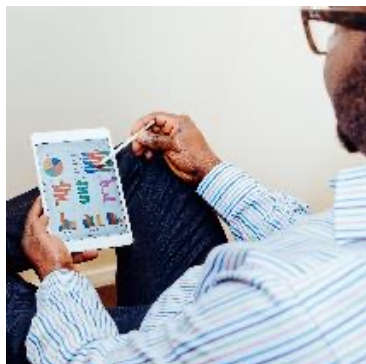
大きな変化を経験した
生活者への定性調査



コロナショックで大きな変化を経験した
さまざまなライフステージの生活者を
深く理解し、未来洞察の兆しを獲得



アプローチ1：リドユーザーリサーチ



大きな変化を経験した
生活者への定性調査



リサーチテーマ

生活者の暮らし方の変化

- ・時間の使い方
- ・お金の使い方
- ・働き方
- ・住まい方
- ・人との繋がり方

Ex: 学び、食、健康、住まい、身だしなみ、出会い、自己投資、メディアリテラシー

リクルーティング

国内インターネットパネルにてスクリーニングを実施。ライフステージや候補者特徴のバランスを見ながら、自由記述の内容をもとに有力な候補者がピックアップし、5名の最終対象者を決定。

調査手法

90分程度のオンラインインタビュー

アプローチ1：リードユーザーリサーチ 対象者



19歳女子大学生

【1人が心地良い】さん



27歳会社員女性

【学びを頑張る】さん



47歳副業中女性

【家族仲良し】さん



51歳自営業男性

【自分を見つめる】さん



39歳会社員男性

【息子と仲良し】さん

アプローチ2：エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ



未来洞察の兆しの
先にいる生活者への
定性調査



兆しの先にいるエキスパート・エクストリー
ムユーザー（国内／海外）に追加調査を行い、
アフターコロナ後の未来洞察につなげます



アプローチ2：エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ



リサーチテーマ

リードユーザーの先にいる生活者の暮らし方

Ex:フルリモートワーカー家族、アドレスホッパー、メディアリテラシーの高い国・社会、クリーンでなければ発作を起こしてしまう疾患患者、エボラ出血熱ファイター、ベーシックインカム経験者、VTuber

未来洞察の兆しの
先にいる生活者への
定性調査



リクルーティング

未来洞察の兆しの先について国内・海外のデスクリサーチを実施しながら候補者をピックアップし、5名の対象者を選定。



調査手法

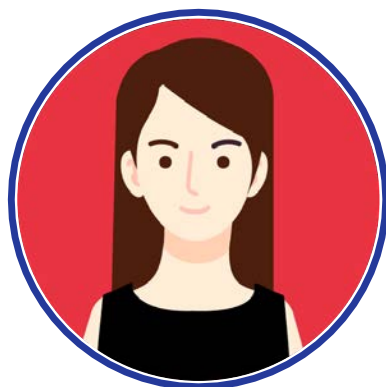
90分程度のオンラインインタビュー

アプローチ2：エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ 対象者



53歳【日本語教育支援】

24時間ZOOMで
つながる単身赴任の
家族さん



37歳【パラレルキャリア】

パラレルワーカー
ママさん



33歳【ソーシャルチャレンジ】

社会課題に取り組む
ソーシャルチャレンジ
マネージャーさん



36歳【ITエンジニア】

限界集落でフルリモートに
業務シフトさん



71歳【元大学教授】

世界の幸福度ランキング
5位ノルウェーで暮らす
お母さん

実施期間・スケジュール

リサーチスケジュール

5/15 キックオフイベント

5/27 国内リードユーザー調査スクリーナー配信

6/5 リードユーザー対象者選定

6/8～ コンタクト・アポイント

6/15 リードユーザーインタビュー

6/22 デスクリサーチによるエキスパート情報収集（国内／国外）

7/3 エキスパート対象者選定

7/6～ コンタクト・アポイント

7/13 エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ

7/31 レポーティング開始

8/14 第一期レポート納品

レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things

全体像

Covid-19によってこれまであった社会秩序は崩れ、人々は新しい暮らし方や働き方を経験しました。それぞれが自分自身と向き合う時間を持ち、より自分らしく豊かな人生を求めようになりました。そして今、人々はこれまでの自分の暮らし方を見直し、日々の活動に優先順位をつけて、ライフスタイルを再構築し始めています。

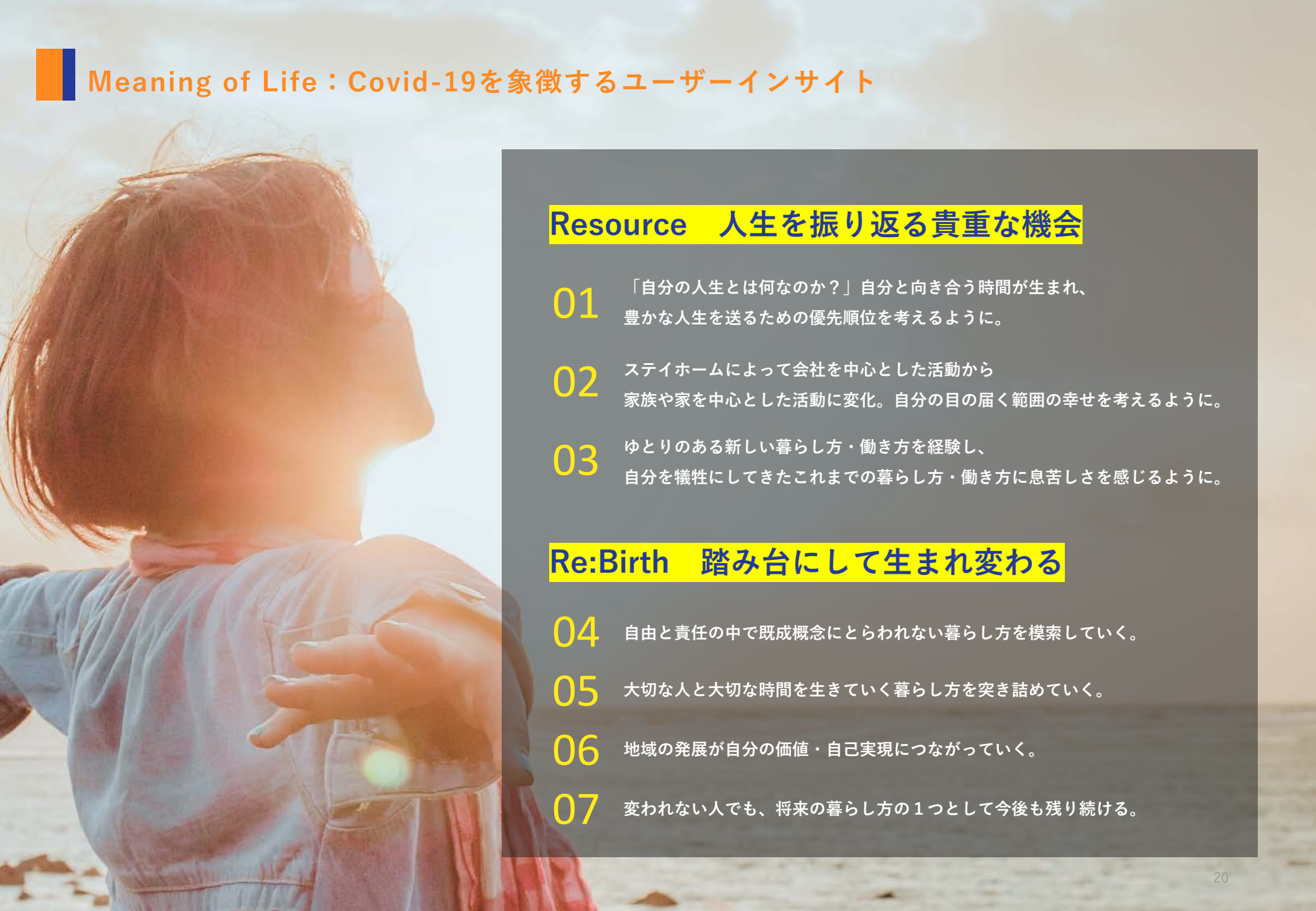


Covid-19は生活者にとってどのような存在なのか？

Covid-19は、日本社会を雨宿りせざるを得ない状況に追い込みました。雨は人々の頭と体を冷やし、風は人々の生活の一部を奪い去っていきましました。

そして今、元の生活に戻ろうとするものは足元を見ながら水たまりを避けるように急ぎ足で歩き、空を見上げて虹を見つけたものは、未来への新たな一步を踏み出そうとしています。





Meaning of Life : Covid-19を象徴するユーザーインサイト

Resource 人生を振り返る貴重な機会

- 01 「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。
- 02 ステイホームによって会社を中心とした活動から家族や家を中心とした活動に変化。自分の目の届く範囲の幸せを考えるように。
- 03 ゆとりのある新しい暮らし方・働き方を経験し、自分を犠牲にしてきたこれまでの暮らし方・働き方に息苦しさを感じるように。

Re:Birth 踏み台にして生まれ変わる

- 04 自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。
- 05 大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。
- 06 地域の発展が自分の価値・自己実現につながっていく。
- 07 変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後も残る続ける。

A Day in the Life：フューチャーシナリオ「未来へと大きな1歩を踏み出す者」

A Day in the Life

これまでの生き方・働き方の良い面を
継承しつつ、人生における優先順位を
軸によりよい生活の実現に向けて挑戦
していく3人の生活者を設定しました。



Making New Things

これから生活者に新しい価値を届けていく企業に向けて、弊社からのメッセージをまとめました。

災いを克服してきた歴史

未来は過去とつながっている

変革による歪み

新しい企業の役割



レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things



Resource 人生を振り返る貴重な機会

- 01 「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。
- 02 ステイホームによって会社を中心とした活動から家族や家を中心とした活動に変化。自分の目の届く範囲の幸せを考えるように。
- 03 ゆとりのある新しい暮らし方・働き方を経験し、自分を犠牲にしてきたこれまでの暮らし方・働き方に息苦しさを感じるように。

Re:Birth 踏み台にして生まれ変わる

- 04 自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。
- 05 大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。
- 06 地域の発展が自分の価値・自己実現につながっていく。
- 07 変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後に残り続ける。

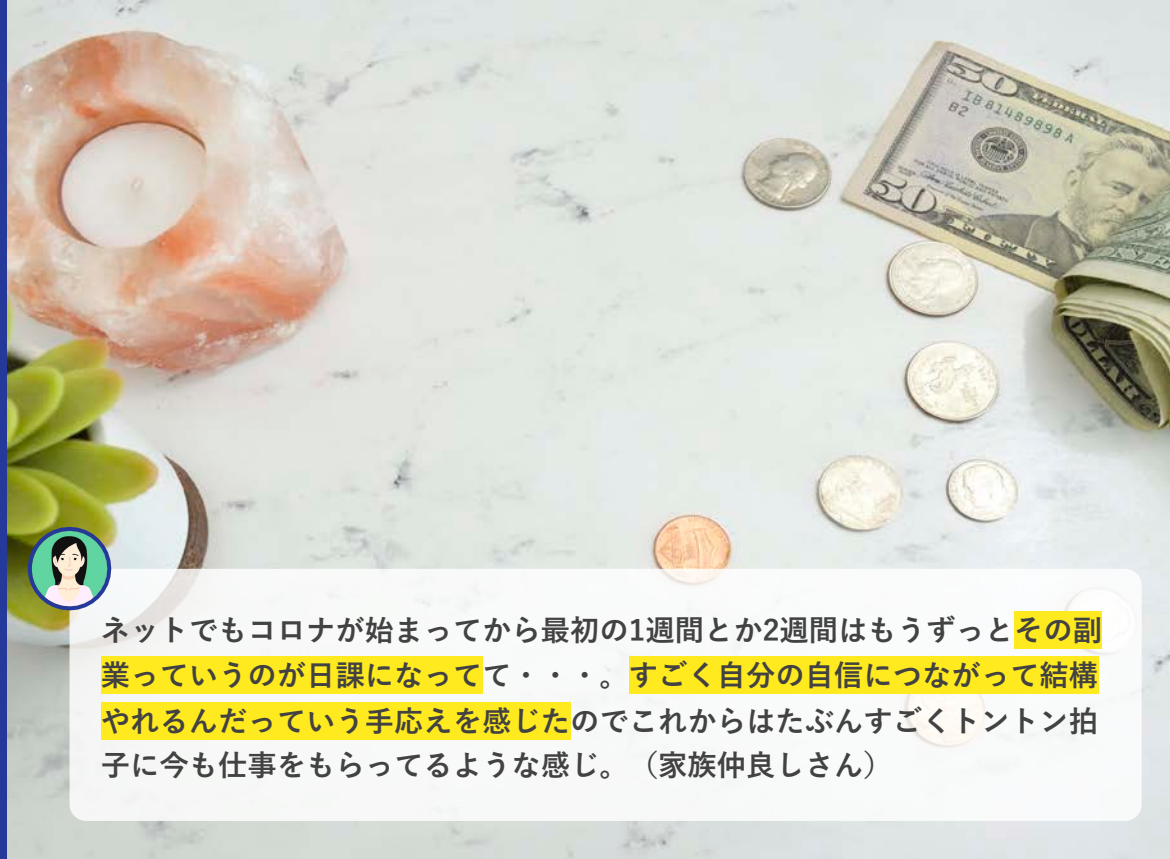
01-a

「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。

望ましい仕事・
大切にしたいことが変化。
日々のルーティンや
お金の使い方にも影響を与える。

SHIFT コロナによる変化

在宅時間が増える中、望ましい仕事は何なのか、または、自分が本当に大切にしたいことは何なのかといった問いに向き合うことが多くなった。モノゴトの優先順位が変わり、日々のルーティンやお金の使い方も変化し始めている（新しい自分の才能に気づく／仕事が変わる／趣味が変わる／他）。



ネットでもコロナが始まってから最初の1週間とか2週間はもうずっとその副業っていうのが日課になってて……。すごく自分の自信につながって結構やれるんだっていう手応えを感じたのでこれからはたぶんすごくトントン拍子に今も仕事をもらってるような感じ。（家族仲良しさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

人々が新しいライフスタイルを模索している時期であるため、いろいろなライフスタイル提案に人々が耳を傾けるようになる。

01-b

「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。

新しい趣味や習慣を通して、
自分らしさを探し求める。

SHIFT コロナによる変化

他者との交流が減少し、自分は一体何者なのか、自分の本当にやりたいことはなんだろうかと、自分の内と向き合うことが多くなった。

新たなコトにチャレンジしたり、昔やっていた趣味を再開したりするようになった。



服飾の専門学校に行きたいと思うほど裁縫を勉強をしていました。趣味として裁縫を続けたかったのですが、最近は忙しくてできず。時間ができたので、改めて裁縫をしてみて、自分にはこういうことができるんだよなっていう再確認をして、ちょっとした自信ができました。（1人が心地良いさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

新しいアイデンティティ、自分らしさの手がかりを探したり、自分の存在価値の確認をするようになる。

02-a

ステイホームによって会社を中心とした活動から
家族や家を中心とした活動に変化。自分の目の届く範囲の幸せを考えるように。

リモート勤務が加速したことで、
ON/OFFの概念（時間/場所）が
一新する。

SHIFT コロナによる変化

リモート勤務により、自宅やカフェの場所でON/OFF
を調整することが求められるようになった。公私を分
けたい人/分けなくて良い人に応じて、実際の行動も
変わってくる。同時に、オンラインミーティングなど
を通して、自宅やカフェが公的な場所にもなってし
まった。



オフィスのチェアを買ったんですけど椅子は今仕事してる環境でいうとちょうど
中間ぐらいでちょっと行き詰まるというか。ちょっと何か考え事したいなあとか、
もうちょっと知恵出したいなあ、というときはキャンプの椅子とかキャンプの
テーブルを出してそこでやっています。（息子と仲良しさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

人によっては、ON/OFFの切り替えのサポートが喜ばれる。同
時に、自宅を公的な場所にするためのサポートを求めるように
なる。

02-b

ステイホームによって会社を中心とした活動から
家族や家を中心とした活動に変化。自分の目の届く範囲の幸せを考えるように。

付き合う相手を選びながら、
人間関係は広く柔軟な繋がりに
変化していく。



なんか**すべてが快適**で。例えば洋服も選ばなくていいしメイクもしなくていいし
お金もかけなくていいし・・・たぶん必要に合わせちゃったりとか無意識に盛り
上げ役になっちゃうときが多くて・・・飲み会とか。(1人が心地良いさん)

SHIFT コロナによる変化

外出自粛により人と「距離を置く」という経験をする
ことで、実は会いたくなかった・会う必要がなかった
相手に気づき、**付き合う相手を選ぶことへの意識が高
まった**。同時に、オンラインセミナー等で価値観の近
い人と出会うことで、**人脈が広がりもした**。

OPPORTUNITY 新しいニーズ

人（特に変な気遣いをしなくてはいけない相手）と会う機会が
減るため、「人に合わせるための消費」が減り、**「自分自身の
ための消費」が増える**。

03-a

ゆとりのある新しい暮らし方・働き方を体験し、
自分を犠牲にしてきたこれまでの暮らし方・働き方に息苦しさを覚えるように。

様々な活動の場が
家の“外”から家の“中”に移り、
「家」の役割・機能が
多様になっていく。

SHIFT コロナによる変化

Stay Homeをきっかけに家での滞在時間が長くなる。
仕事や趣味はもちろんのこと、買い物、食事、運動な
どなど今まで家の“外”で行われていた活動が、家の
“中”で行われるようになっていく。家の中で行われる
活動はこれまでと比較にならないほど多様で複雑に
なっていく。



毎日15時にベランダでお茶をするようになりました。外の空気を吸うことがない日が続いて、そう言えば椅子はあったよなと思って簡単なカフェスペースを作ったんです。こんなルーチンは今までなかったのに今は毎日必ず2〜3回もしくは2時間くらい外で過ごします。1回作ったものはずっと使えるという喜びもあるのでコロナが落ち着いた後も続きそうです。（自分を見つめるさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

これまでのライフスタイルを前提とした「家」ではアフターコロナの多様なライフスタイルには対応できなくなる。生活者の多様で複雑なニーズを満たす「家」のあり方が求められるようになる。

03-b

ゆとりのある新しい暮らし方・働き方を体験し、
自分を犠牲にしてきたこれまでの暮らし方・働き方に息苦しさを感ずるようになる。

外出自粛のために
運動不足になる一方、
食事の調整が出来て
健康をコントロールできるように。

SHIFT コロナによる変化

外出自粛のため「外に出て身体を動かす」機会が減った人は多い。通勤などもひとつの運動になっていたようだ。しかし一方、食事を自宅で摂り、食事の量や内容を自分に合わせられるようにもなってきた。



お店まで交通機関で行って帰ってくるってだけでめっちゃめっちゃいい運動になってみたい。それがなくなって何かすごい体中に異変が。というかそういうのを感じるようになって食事と運動だけでも自分で何とかしないかなって思っ
て・・・（学びを頑張るさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

自宅中心の生活をしながらできる新しい健康のあり方が求められる。

Resource 人生を振り返る貴重な機会

- 01 「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。
- 02 ステイホームによって会社を中心とした活動から家族や家を中心とした活動に変化。自分の目の届く範囲の幸せを考えるように。
- 03 ゆとりのある新しい暮らし方・働き方を経験し、自分を犠牲にしてきたこれまでの暮らし方・働き方に息苦しさを感じるように。

Re:Birth 踏み台にして生まれ変わる

- 04 自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。
- 05 大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。
- 06 地域の発展が自分の価値・自己実現につながっていく。
- 07 変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後に残り続ける。

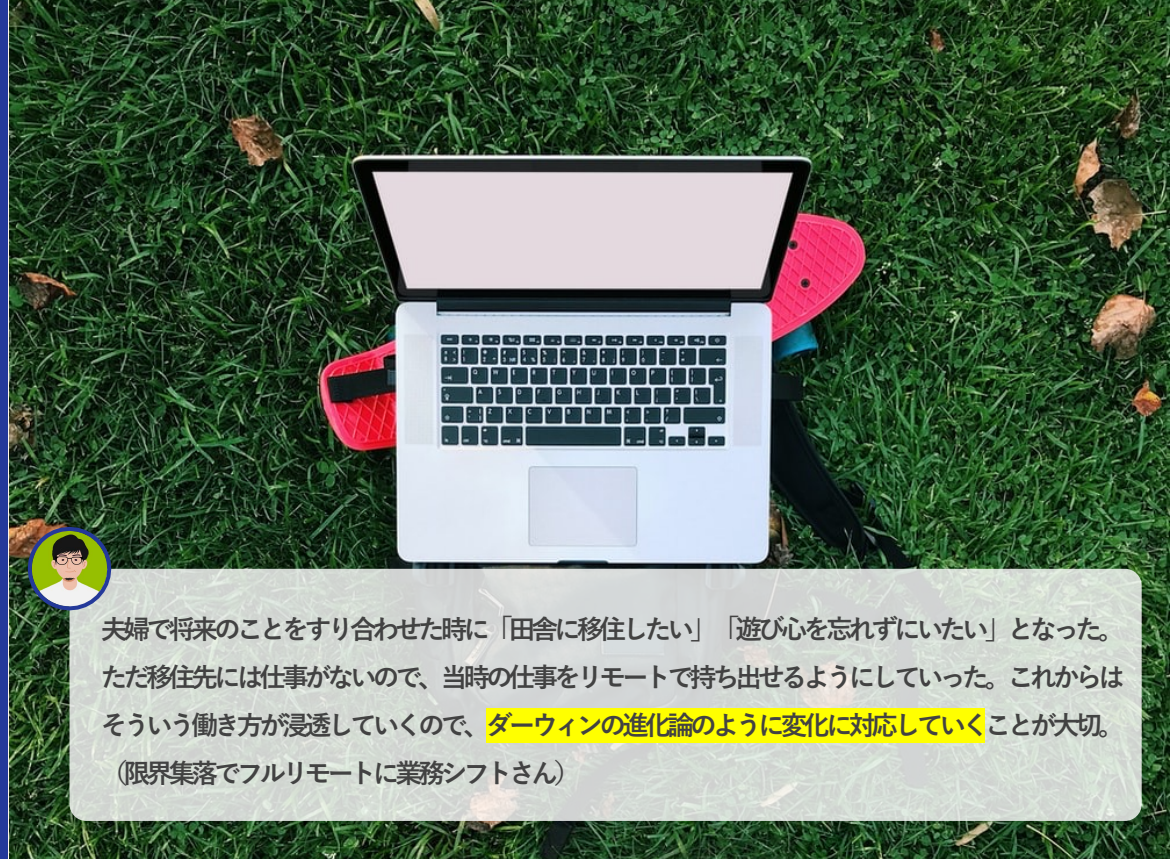
04-a

自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。

リスクを負わなくても
人生観に合った働き方が
できるようになっていく。

SHIFT コロナによる変化

コロナを通じて、企業に勤めながら働き方を変えていくことが可能なリモートワークやパラレルワークの社会認知が進んだ。今後はライフステージの変化や価値観の変化など、人生の優先順位の変化に合わせ、働き先、働く場所、働く時間など、リスクをコントロールしながら働き方をカスタマイズしていくことができるようになる。



夫婦で将来のことをすり合わせた時に「田舎に移住したい」「遊び心を忘れずにいたい」となった。ただ移住先には仕事がないので、当時の仕事をリモートで持ち出せるようにしていった。これからはそういう働き方が浸透していくので、ダーウィンの進化論のように変化に対応していくことが大切。
(限界集落でフルリモートに業務シフトさん)

OPPORTUNITY 新しいニーズ

人生観に合わせて、想いとリスクのバランスをとりながら働き方を試行錯誤することが始まり、実績が蓄積され、その後の生活者に情報展開されていくこととなる。

04-b

自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。

他者と比較せず
自分なりの価値基準を持つ
「ヨソはヨソ、ウチはウチ」の
精神がより大切になる。

SHIFT コロナによる変化

コロナ禍の経験を通じて、多くの人たちが絶対的な正解を定義することの難しさや、自分なりに考えて判断することの大切さに気づいた。またそれと同時に、自分とは異なる他者を認めるダイバーシティへの寛容さも求められるようになる。



音楽講師をしてるのですが、教室はどうしても密な空間になっちゃっているんですね。
可能な限り人数も少なくしたいなと思っていて仕事先（音楽教室）にも要望として出してるんですけど、あんまり向こうも周りも危機感を感じていないというか。今はどこかすっきりしないままです。実際、カラオケで感染したとかいうニュースも聞いたりするので。（家族仲良しさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

ビジネスでも明確な所与のルールがあることは少なくなり、企業や従業員にとっては不確実な状況下でも自らリサーチをして、時にはリスクを取りながら前進する姿勢が競争力になる。また情報や理念を伴うコミュニティやメディアなどの機能が存在感を増していく。

04-c

自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。

自由な働き方には責任が伴う。
就業者の能力の明確化・言語化が
進んでいく。

SHIFT コロナによる変化

ライフスタイルに合わせてキャリアをカスタマイズしていくためには、企業に対して交渉やアピールが必要。
企業を説得するためには、それ相応の信用が企業から求められる（個人として有用なスキルや実力、経験など）。



座右の銘は「自由の裏には責任がある」。周囲から徐々に信頼を得ることができてリモートにすることができた。アウトプットを出すことが大切。コロナがあり、よりこの言葉が揺るぎないものだと感じるようになった。（限界集落でフルリモートに業務シフトさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

ソーシャルディスタンスや業務のリモート化が進むにつれ、コミュニケーションのあり方が変化し、新しい働き方が必要になる。それに伴い個々の就業者の能力の言語化が必要となっていく。これまで言語化しにくかった能力についても言語化を試みる動きが進んでいく。

05-a

大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。

人生において
大切な時間を先に置く。
それに合わせて、
暮らし方をカスタマイズする。

SHIFT コロナによる変化

仕事に合わせて生活を組み立てるスタイルからのシフト。優先順位の高い時間や家族や大切な人との時間を確保し、さらに増やしていくために、朝夜のオフタイムや休日などの時間をうまく活用した働き方に変わっていく。



以前は子育てと仕事の両立が難しくバランスが崩壊していた。どちらともいいバランスをとれるのが、何だろうと模索していた。仕事とプライベート、自分の時間、得られる時間のバランスはどのぐらいが理想なのか…いまは子育てに重きを置いて快適なバランスのとり方を重視している。（パラレルワーカーママさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

優先順位の高い大切な時間を維持しつつ、1人で行う仕事や余暇などの時間を確保するため、1日の中で公私を横断してタイムマネジメントしていくスキルが求められるようになる。

05-b

大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。

自分にとって大切な時間に気づき、
さらに生み出すために
できることを模索。



家族で快適に暮らすにはどうしたらいいかというのは時間を取って考えるようになった。大切な時間を作るために効率的にやっていきたい。ルンバ、ヘルシオ、ホットクックを取り入れたり、完全キャッシュレスにしたり。人間関係も余計な人づきあいはしないように。自分の気持ちに正直に。（パラレルワーカーママさん）

SHIFT コロナによる変化

コロナを機に、限りある時間の中で何を大切に生きていくのかを振り返る機会となったことで、今までは無駄だと思っていた時間が実は大切な時間だと気づいたり、その逆に大切な時間のために無駄を削ろうとする意識が高まった。

OPPORTUNITY 新しいニーズ

大切にしたいことが明確になることで、時間をかけることに意味が出てきたり、時短対象ではなかったものが時短対象になったり、時間の使い方に変化が生まれる。

05-c

大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。

暮らしの活動単位が小さくなり、
ミクロな活動を
パッチワークのようにつなげて
生活を組み立てていく。



大学としては良くないのかもしれないんですけど授業を受けながら何かをすることが結構あって、ご飯の準備したりとか洗濯機を回したりとかしてます。今までは本当に大学行っちゃうと何にもできなかったんですけど。授業の間の休憩時間も今までは移動教室で終わりっていう感じだったんですけど今はその時間で余裕で布団干せますよね。（1人が心地良いさん）

SHIFT コロナによる変化

暮らしの活動の単位がこれまでよりミクロになり、ちょっとしたスキマ時間に別の活動をはめ込んだり、複数の活動を並行してパラレルに進めたりすることが増えていく。人々は小さな活動をパッチワークのように組み合わせながら自分の生活を柔軟に組み立てていくようになる。

OPPORTUNITY 新しいニーズ

短い時間で簡単にできる活動や他のことしながら同時進行できる活動が好まれるようになる。その一方でまとまった時間を奪うような活動は敬遠されるようになる。

06-a

地域の発展が自分の価値・自己実現につながっていく。

地域や社会の課題が自分事になり、
共生にむけての調和や貢献が
始まる。



地域との触れ合いが増えていく中で、ふつふつと地域に対する愛が芽生えた。子供が生まれた時に友達がいなかったり、同世代の若者が周囲にいなかったり、そういう課題を解決して地域を活性化していくことが自分たちの目指す方向と合致していった。（限界集落でフルリモートに業務シフトさん）

SHIFT コロナによる変化

家を中心とした生き方が定着し長期化すると、その周囲は徐々に広がり、自分の目が届く家周辺の環境や住民・地域社会との共生が人生の中に入ってくる。周辺住民や周辺地域の発展が自分の人生をよりよくしていくこととつながってくる。

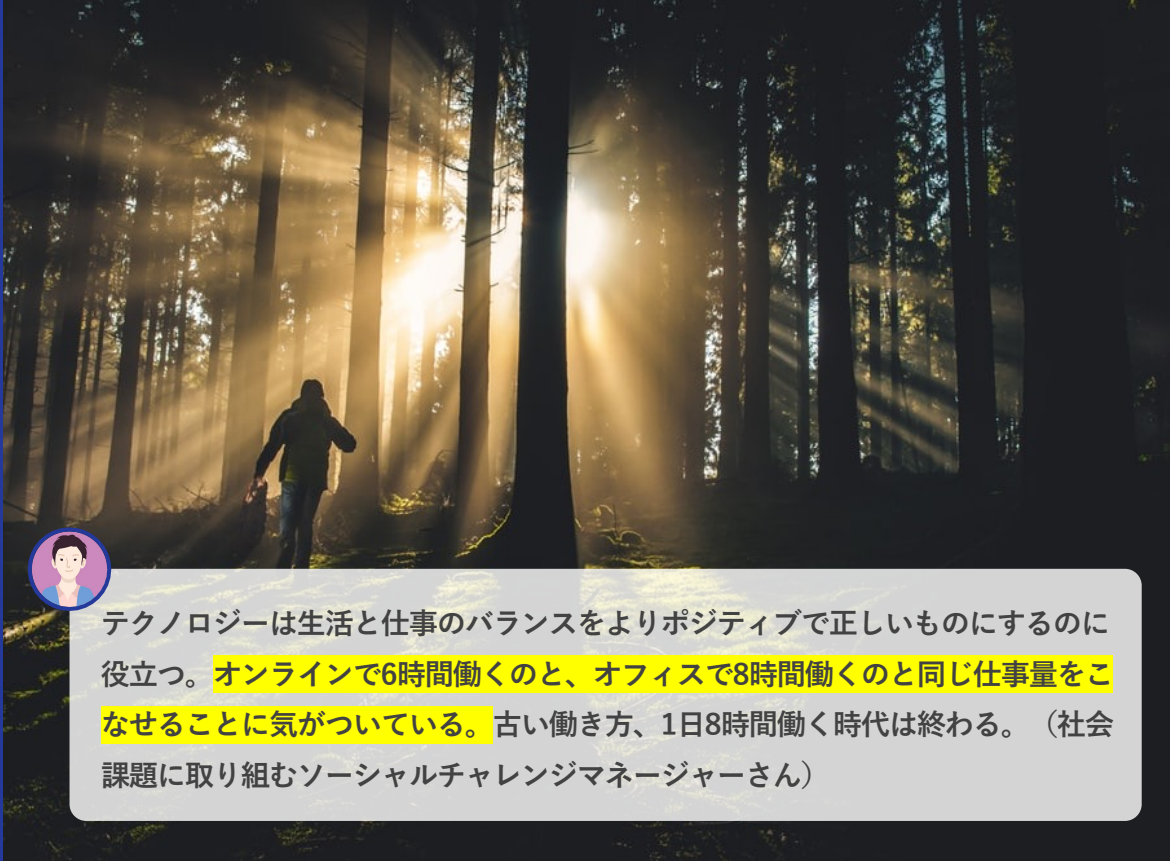
OPPORTUNITY 新しいニーズ

労働者層が住まい周辺の地域における社会課題に取り組むようになることで、高齢化や担い手不足になっていた地域コミュニティが活性化していく。

07-a

変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後も残続ける。

コロナショックで得た
ポジティブな経験は
変わらない人にも
心の中に残り続ける。



テクノロジーは生活と仕事のバランスをよりポジティブで正しいものにするのに役立つ。**オンラインで6時間働くのと、オフィスで8時間働くのと同じ仕事量をこなせることに気がついている。**古い働き方、1日8時間働く時代は終わる。（社会課題に取り組むソーシャルチャレンジマネージャーさん）

SHIFT コロナによる変化

コロナショックは従来の仕事や生活の在り方を考えさせる機会となった。会社の方針や家族の影響などライフスタイルを変えることができない人にとっても、コロナショックで得たポジティブな経験は今後も「あるべき姿」として残続ける。

OPPORTUNITY 新しいニーズ

社員の新しい働き方・自己実現を支援する仕組みづくりが企業価値や従業員満足度の向上につながっていく。また、変化しない企業との温度差は社会のひずみとなり、今後、何らかの形で顕在化してくる。

07-b

変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後も残り続ける。

変わっていくことに
期待する生活者に対し、
元に戻ろうとする企業に
冷めた眼差し。

SHIFT コロナによる変化

コロナパンデミックをキッカケにこれまでの自分の暮らし方や生き方への疑問を抱き、新たな生き方へとシフトさせようと考えている人は多い。一方、ビフォアコロナの事業活動を一刻も早く再開させることが最優先のアジェンダになっている企業も存在する。変わろうとする生活者と元に戻ろうとする企業との間には格差が生まれている。



ちょっと警戒が緩んできて移動もできるようになってきた中で、お客さんが会ってやらなきゃだめだ、呼びつけられることが最近また増え、**せっかく変わるチャンス**というかお互いに新しいことを生み出していこうといったときに**すごく引き戻された**感がある。（息子と仲良しさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

企業姿勢を示すことが社会にも従業員にも求められており、SDGsのような社会的意義の高い活動の重要性も増してくる。

07-c

変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後も残リ続ける。

組織や個人間における
フィードバックや
承認のあり方が変わってくる。



会社に行かないので、一人で働いているという錯覚に陥ります。上司が気を使ってくれる人で、「この間の資料本当に助かったよ」「パワポのスキルが上がったね」と褒めてくれていたので連帯感を感じていたのですが。今は頑張っても、頑張らなくても感謝してくれる人がいないので、前と比べるとやりがいも落ちています。（学びを頑張るさん）

SHIFT コロナによる変化

オンラインでも仕事が完結するようになったことで、今後もオンライン化が進み、上司や同僚からの反応が見えにくくなっていく。仕事を進める上でのモチベーションだった「誰かに仕事を褒められる喜び」「一緒に仕事を進める喜び」という連帯感のオンライン化が進んでいく。

OPPORTUNITY 新しいニーズ

フィードバックのあり方が見直されるようになり、他者との関係性が見えにくい中での新たな承認の形が生まれる。

レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things

A Day in the Life：フューチャーシナリオの位置づけ

これまでの生き方・働き方の良い面を継承しつつ、
コロナをきっかけに変容していく人々のストーリーを作成しました。

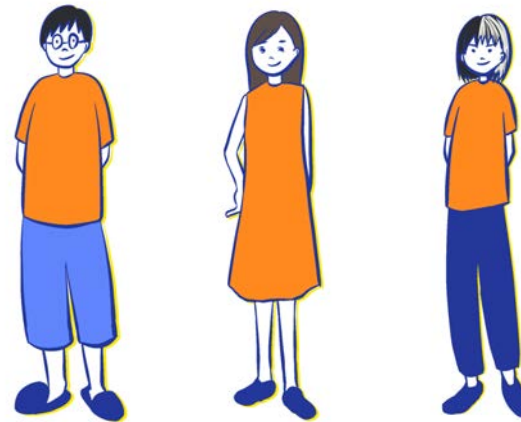
2020

2025~

リードユーザーの
インサイト

エクストリーム
ユーザーの
ライフスタイル

海外・国内の
トレンド
ソリューション



コロナをリソースとして新たな未来を切り開く
人々の未来のストーリー

A Day in the Life



自分のリズムで
営む暮らし



家族と共に作る
パッチワークな暮らし



半径10mで始める
エッセンシャルライフ



➤ SHIFT

今までの暮らし
会社から仕事と働き方を
与えられてきた



コロナをきっかけにした新しい暮らし

**仕事も働き方も
自分のリズムで形作る**



PROFILE

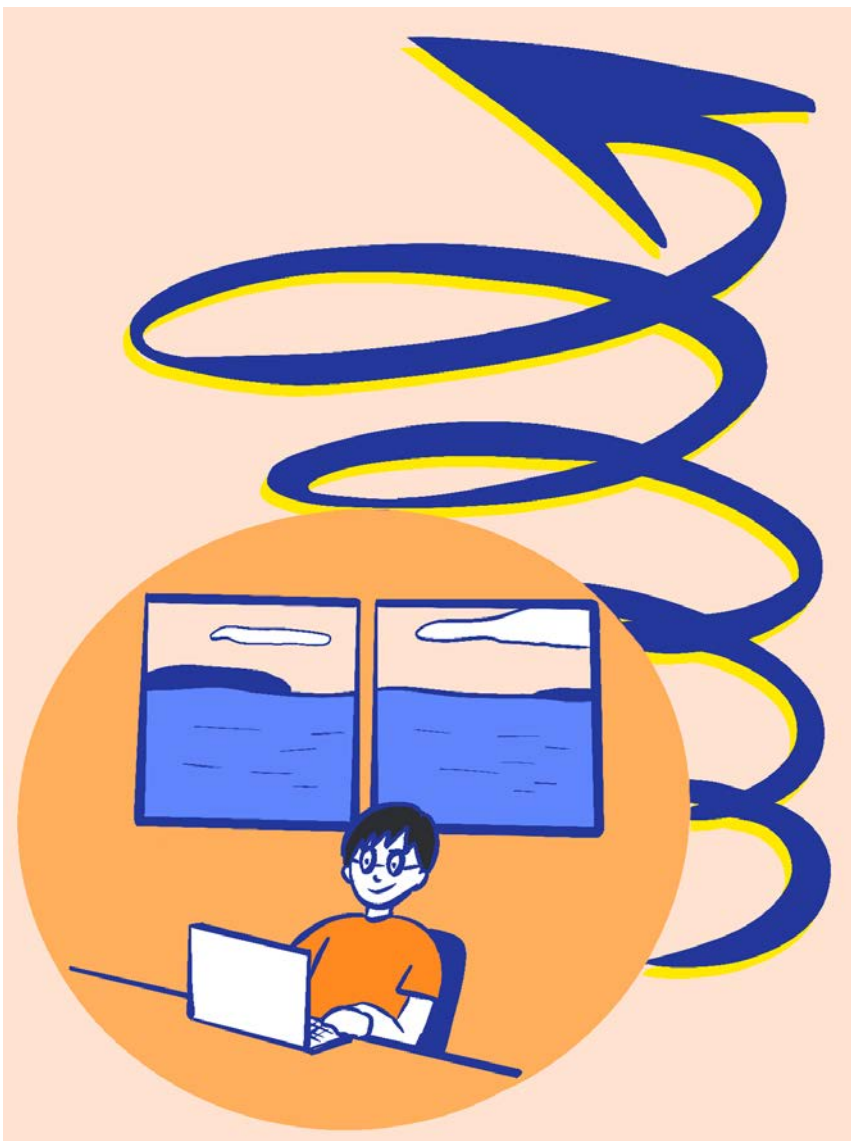
大翔（たいと）さんは32歳、都会生まれ都会育ちですが
よく帰省していた祖父母のいる三重県志摩市に
移住をしてフルリモートで夫婦で働いています



GOAL

仕事も地域とのプロジェクトもやりがいのあるものをやり遂げる
自分の責任でスキルを活かしてチャレンジできること
ゾーンに入って集中するのとリラックスするのを切り替えてメリハリのある暮らし





都会での決められた暮らしから 田舎での自分の責任で生きる暮らしへ

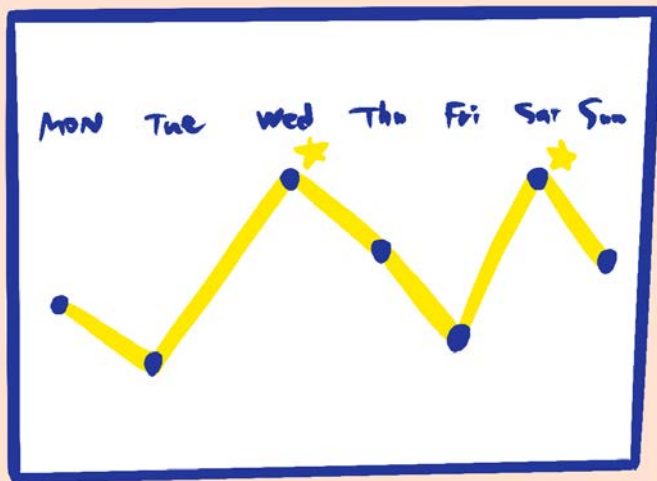
東京の大企業でエンジニアとして働いていた大翔さんは、コロナを機に在宅勤務を開始しました。

通勤など人が密集するリスクの多い都心での暮らしにストレスを感じ、将来してみたかった田舎暮らしに思い切ってチャレンジ。勤めている企業でも移住の支援があり、また祖父母からの伝手を頼りにできたので、思ったより低コストでの移住が出来ました。

都会での暮らしは刺激的でしたが、**仕事だけでなく地域社会に関わりながら培ってきたスキルを通してつながりの生まれる今の暮らし**に充実感を覚えています。夫婦で暮らしの目標共有を行い、家族として協同し成長していています。

未来の顧客経験

- ・ 仕事中心から家族中心へシフト
- ・ プレッシャーとリラックスの調和
- ・ キャリアを駆使して地域課題に取り組む



ウィークリースクラムの働き方

大翔さんの新しい仕事の仕方は「スクラム」方式。月曜日に日本中に散らばる仲間と意識合わせを行い、金曜日に成果物を見せ合います。そのため火曜から木曜は自分のペースで仕事を進めることができますが、一方でこの働き方は自己責任で業務管理をすることが不可欠で、このスタイルに慣れずに退職した同僚も。大翔さんはアウトプットの質にこだわりたいため、**ゾーンに入って集中できる環境作り**をしています。

この働き方は自分のリズムで働く時間を決めることができるので、会社の仕事と自分の夢をかなえる個人的なプロジェクトが交ざった、**平日、休日という枠組みにとらわれることのない時間の使い方**になりました。

気が向くと海辺を眺めながら仕事をすることも。

未来の顧客経験

- ・ アウトプットにフルコミット
- ・ コントロールできる充実感
- ・ ゾーンに入る



ゆったりした家族との時間と 質の高い生活の追求

志摩で暮らすうちに大翔さんの生活は変化していきました。外食の多かった都市での生活から、地元で採れた魚介類や野菜を中心とした食卓に。見映えは少し劣るけれども、本当に美味しいものを毎日いただく生活になったことで、**普段の買い物でも原産地は気になる**ように。

また自宅に籠りがちになるため、運動不足にならないよう気晴らしに夫婦で近隣の道をジョギングします。**リモートでの診療をしたりヘルスケアのためのサービスが増えたので健康面は安心**です。

家事は分担して手早く済ませ、夜はリラックス。外出も減り、支出が減ったため夜のお酒と肴はつい贅沢を。今夜は他の地域の同僚から紹介してもらった地酒を楽しみます。

未来の顧客経験

- ・ワークライフバランス
- ・地産地消・エシカル消費
- ・家族団らん



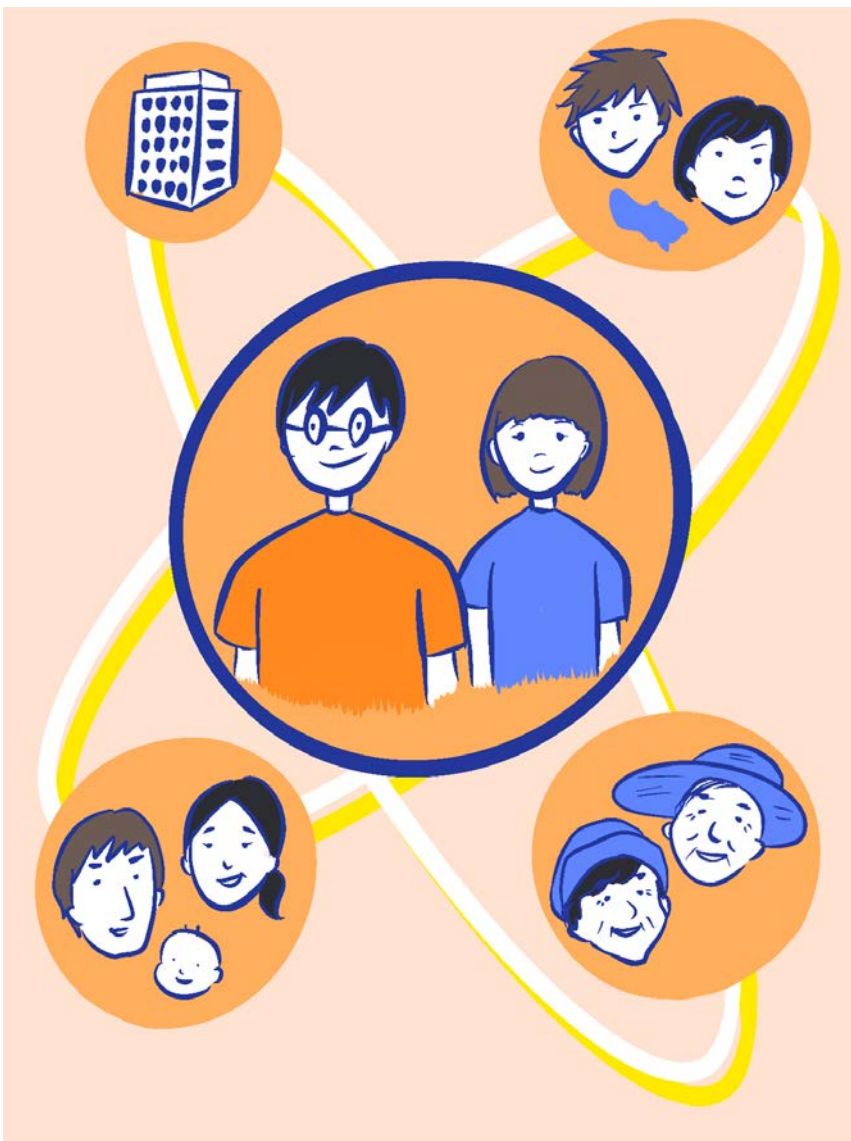
小さく新しいことにチャレンジできる場

最近やりがいをもって取り組んでいるのは、**地元の漁師さんや他のリモートワーカーとのつながり**で始めた空き家を民宿にするプロジェクトです。本職のエンジニアの知識を活かして、空き家のリノベーションのための企画案を考えています。本職の業務で行き詰まったら、リノベーションのプロジェクトで気分転換しています。

また地域にはコワーキングスペースやイベントスペースが設置され、定期的に巡業映画館や移動式のレストランが開催されたり、リモートワーカー同士の交流会もあったり、本業のプロジェクトにつながることも。都会と同じような出会いもあり、**地方はいい意味で小さくチャレンジできる余白のある場**だと感じています。

未来の顧客経験

- ・ユニークキャリアの構築
- ・余白を開拓していく楽しさ
- ・人とのつながりを大切にする



自分の周囲の地域社会を耕す

大翔さんの当面の目標は、埋もれてしまいがちな地元のモノやコトを、自分と同じような移住者や観光客でも簡単にアクセスできるようなコミュニティを創っていくことです。それを意識しながら地元のネットワークも仕事で得たネットワークも使って志摩の魅力を伝え続けようと思っています。

大翔さんの影響を受けて、料理人の友人が「形の悪い魚介類を美味しく料理する」という新しい活動を始めたことを、大翔さん自身とてもうれしく思っています。こうして、**自分の住んでいる地域を耕していくことがこれから生まれる子供を含めた自分たち家族の未来に良い影響を与える**と信じているのです。

未来の顧客経験

- ・ 機会に立ち会う刺激
- ・ 地域で頼られる存在になる
- ・ 地域創生に関わる使命感

A Day in the Life



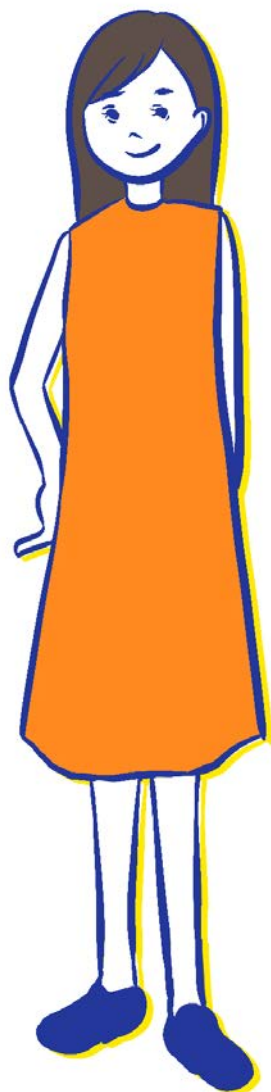
自分のリズムで
営む暮らし



家族と共に作る
パッチワークな暮らし



半径10mで始める
エッセンシャルライフ



➤ SHIFT

今までの暮らし
家庭と仕事を区別して
トレードオフする暮らし



コロナをきっかけにした新しい暮らし
**家庭も仕事も混じり合って
トレードオンする暮らし**



PROFILE

美織さんは38歳の女性です。
夫と子供二人との4人家族で生活し、
都心にアクセスの良い郊外で暮らしています。



GOAL

家族との時間も自分の時間もきちんとバランスをとってクオリティーを上げていく
家庭と仕事を両立するために家事も仕事も効率的に自分でコントロールできる状態にする
ルーチンなものは徹底的に省力化し、自分と家族のための意味ある時間にあてる



パッチワークのような暮らし

美織さんはコロナによる自粛期間中の家族でのかけがえのない時間を経験しました。日々子供の成長に気づけることや毎日家族で食卓を囲む大切さに気づいたことで、**自分の人生を犠牲にして組織に尽くす生活から一転**、家族が一番と割り切りフレキシブルな働き方に変えたのです。

総合職からジョブ型の業務に転向し、働く時間をコントロールできるように。家庭も仕事の時間もバランスよく両立していくため、**まるでパッチワークのように毎日の時間を刻む暮らし**は慌ただしくはありますが、通勤時間や勤務時間などに拘束されていた時とくらべて時間を自分でコントロールできるようになり、充実した毎日を過ごしています。自分なりに**女性の働き方として新しい**ものだという自負もあります。

未来の顧客経験

- ・ 家族回帰への自負心
- ・ 家族のためのキャリア志向
- ・ 大切な時間を生み出すためのタイムマネジメント



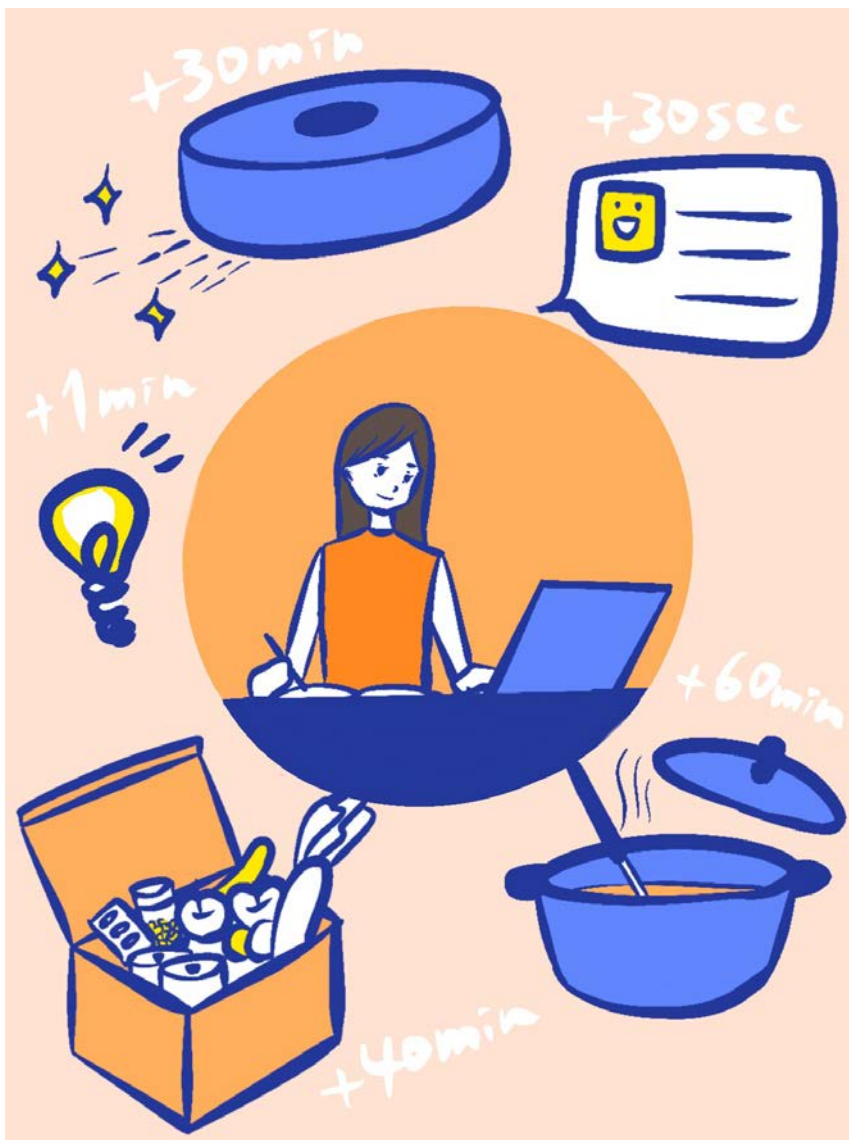
パラレルワークが生み出す自信

総合職だった当時の美織さんは、自分の本当にやりたい仕事と育児との間で板挟みになり悩んでいました。コロナを機に社会的にパラレルワークという働き方が浸透し、その時代の流れに乗るように**ジョブ型での就業と副業という働き方**にシフト。時間にゆとりができたので、**空いた時間に今まで諦めていた専門領域にもチャレンジ**できるようになりました。朝の時間帯に集中が必要な業務に取り組み、夕方は隣に子供がいても出来るような事務作業を入れてパフォーマンスを維持しています。

パラレルワークをうまく取り入れることで、仕事一辺倒のバリキャリでも、専門性のないゆるキャリでもない、ちょうどいい働き方を実現できています。また、**これからの自分の強みとなる専門性を磨く**ことのできる安心感も生まれてきました。

未来の顧客経験

- ・ 会社の歯車からの解放
- ・ 成長する自分が感じられる充実感
- ・ テキパキ処理していく疾走感



徹底的な省力化による時間創出

これまでは仕事の隙間時間に家事・育児をしていましたが、コロナの在宅期間を機に生活環境を見直し、快適に暮らすにはどのようにしたらいいかを考えるように。家事は自動化省力化を徹底、**製品の購入の際には時間の省力化につながるか、自分たち家族に価値を与えてくれるものか**を重視。感染予防のためにまとめ買いする習慣ができ、ほとんどのものは通販で頼むようになりました。

その結果、家の中は家事のしやすさや、家族の好みに合わせてカスタマイズされています。仕事と同様に家事もタスクリストで管理し、Bot等を駆使して夫婦で分担を徹底しています。また自粛生活になっても耐えられるという自信があります。

未来の顧客経験

- ・ 家族が一丸となって暮らせる安心感
- ・ メリハリの徹底
- ・ 公私の管理の混同
- ・ 良い選択を取り入れ家族に貢献する



早朝の自分時間が生み出す余裕

美織さんは朝4時に起きて、自分のための時間を過ごしています。その時間で短時間で見られるコンテンツを楽しんだり、自分の美容健康のための運動をして1日を気持ちいいスタートに出来るようにしています。今日1日は何をしようかなというワクワクした気持ちになります。

今までは通勤で怒りながら子供の対応をしていたのが嘘のようです。この**自分の時間を持ててこそ、子育てや家族と過ごす時間も心穏やか**でいられます。また夕方に仕事の都合が付くときには、友人や家族とゆっくりティータイムを過ごしたり。今までは避けていた時間のかかる料理や趣味にもチャレンジするようになり、**大切な人との時間を以前よりも満喫できる新しい習慣**ができました。

未来の顧客経験

- ・心のゆとりを持った子育て
- ・自分の新しい一面に出会える楽しさ
- ・人生に彩りを添える自分時間の獲得

家族と共に作るパッチワークな暮らし

人物像

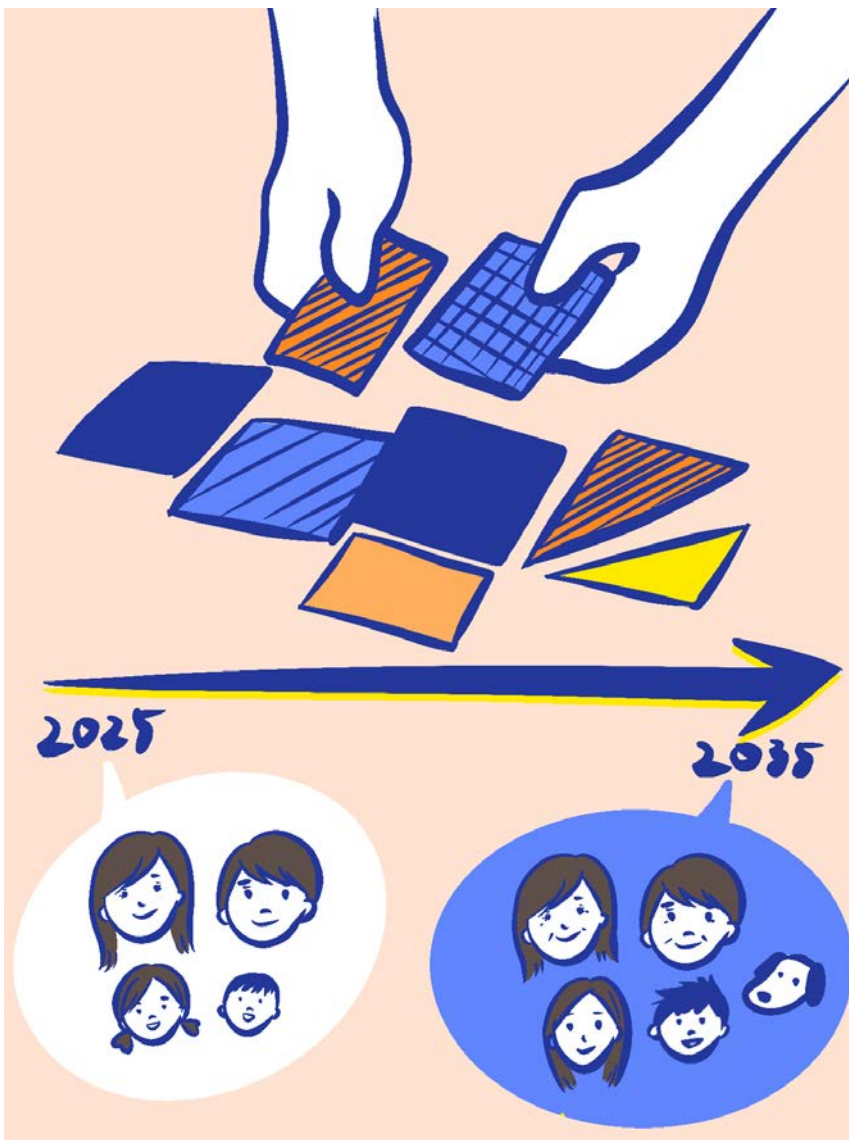
新しい暮らし

仕事

生活

生きがい

これから



家族の成長に合わせて、 パーツを組み替えていく暮らし

美織さんは今の、パラレルワークでの自分で精密なパッチワークを作るようなコントロールできる暮らしに満足しています。理想としては副業としている専門領域の自分がやりたい仕事の割合を増やしていくことです。そうして**会社に頼らずにも生きていけるように**したいと考えています。今、家の中は仕事にも生活にも育児するにも最適な環境が整っていますが、**子供の成長に合わせてもう少し周囲の環境や住まいを変えていきたい**と考えています。

オフィスの通勤から解放されて移住する人々も増えて住まいの選択肢も増えてきています。今度住まいや移住に関するコンサルティングサービスに相談をしようかなと考えています。

未来の顧客経験

- ・ 会社に頼らず生きていく自信
- ・ ユニークキャリアの構築
- ・ ライフステージに合わせた生き方のチャレンジ

A Day in the Life



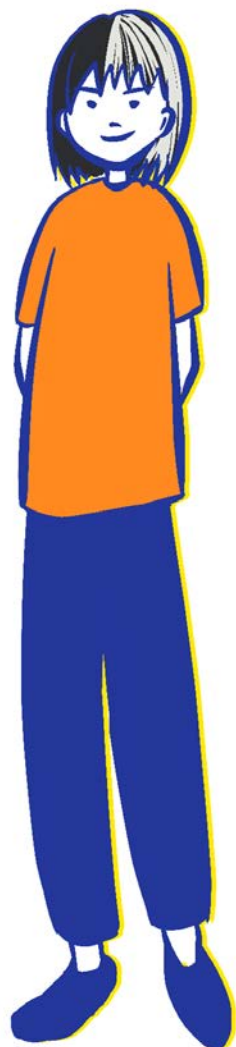
自分のリズムで
営む暮らし



家族と共に作る
パッチワークな暮らし



半径10mで始める
エッセンシャルライフ



➤ SHIFT

今までの暮らし
周囲のコミュニティに
合わせてつながる暮らし



コロナをきっかけにした新しい暮らし

**自分の意志を持って
あらゆる世界につながる暮らし**



PROFILE

優佳さんは22歳で大学院に籍を置きながら、
都心で大学の側の郊外で一人暮らしをしています。
研究とキャリアを模索する女子大生です。



GOAL

自分の大切にしたいものだけ追求していきたい
大事なものの以外は断捨離していきたい
自分の価値観に沿うものか、自分のブランドにつながるものかを選別する





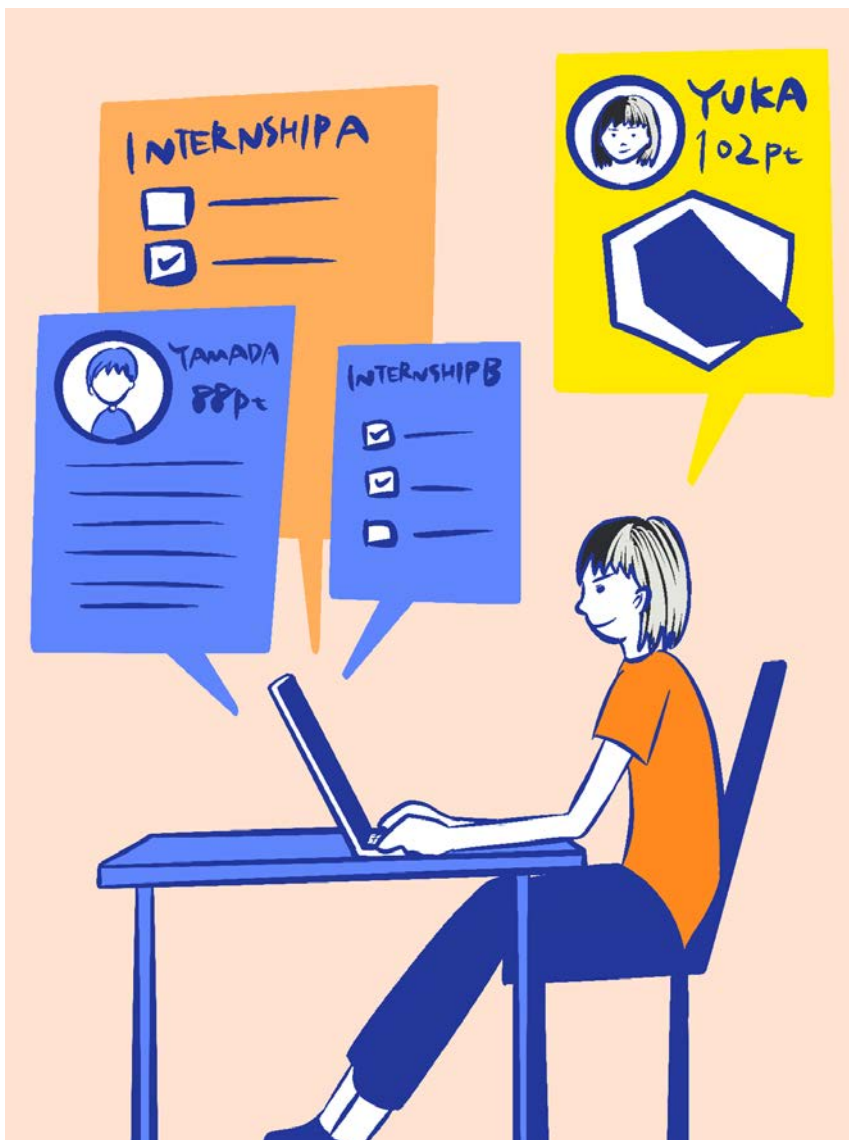
自分の大切なもの中心主義への変化

優佳さんは大学2年の冬にコロナで生活が様変わりした経験を持つ一人です。それまでは周囲の学生と同じようにサークル、バイトに勤しみ、ゆくゆくはイベントの企画・運営に携わりたいと漠然と感じていました。

そこにコロナによって引き起こされた当たり前の学生生活との断絶は、優佳さんにとって「自分に本当に必要なものは何か」ということを考える時間になりました。自分がいかに周りの人間関係に合わせて生きてきたか、本当にやりたいことのために時間を使えていないかに気づくことができました。それからは自分が大切にしたい価値観を中心に生活を組み立てるようになりました。

未来の顧客経験

- ・ 不確実な未来を受け入れる
- ・ 自分の中にある大事なものを探索する
- ・ メタ思考



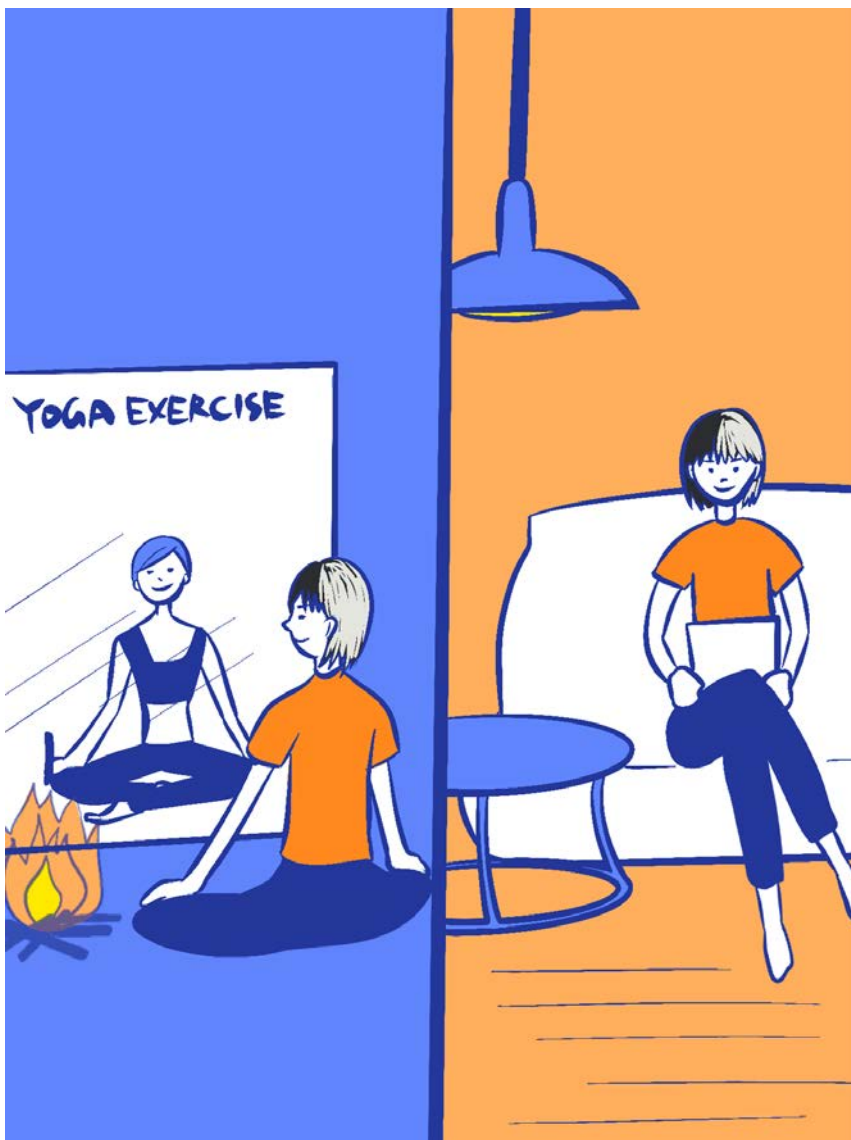
セルフブランディングしながら前進

同級生と同じように家に籠って生きていくだけでは社会の変化に置いていかれるのでは？という不安な気持ちもあり、大学で学んだことを実践するイメージをつけるために、専攻している専門領域にまつわるインターンに行くことにしました。

キャリアのメンタリングサービスも利用しました。**オンラインでキャリア形成に役立つサービスが増えて**おり、まるでゲームのように自分のスキルなども可視化されるので、次はこれをやろうというゲーム感覚でいろんなことにチャレンジしています。アルバイトをしていた時より収入は増えてきましたが、先行き不透明な世の中なのできちんと管理し、一部は**自分の価値観に合う事業にマイクロ投資**しています。

未来の顧客経験

- ・ リモートネイティブ
- ・ チャレンジしたことは無駄にならない
- ・ 実践・実用主義で前進していく
- ・ セルフブランディング



ONとOFFのメリハリの明快な暮らし

あらゆる活動がオンライン中心になったので大学から少し離れた郊外に引っ越し、モードの切り替えを促すONの部屋とOFFの部屋と作りしました。まだ慣れない**オンライン中心の生活で心身ともにつらい**こともあり、家具のシェアリングサービスを活用して季節や気分に合わせてインテリアを入れ替えて生活空間に非日常を取り入れたり、空き時間でパーソナルトレーニングサービスを受けたり、**意識的にリフレッシュ**することが多くなりました。

夜は定期的に家族とリモートで繋いでおいて食事を共にすることもあり、時には特に話すでもなくつないでおき、お互いの雰囲気だけでも感じることで安心感につながります。**家族や大切な人間関係の人とはリモートでも頻繁につながったり、特別なギフトを贈るように**なりました。

未来の顧客経験

- ・ 五感を磨き自分の感性を高める
- ・ 非日常を家に取り入れる
- ・ 人間関係のリモートメンテナンス



アゲてくれる人、ものごとに出会う

やりがいを感じ始めたのは、専攻分野に関するカンファレンスにリモート参加することです。英語はそこまで得意ではありませんでしたが、今は翻訳機能が便利になりコミュニケーションでの問題が減りました。**海外の様々な価値観の人と語り合ううちに視野が広がり**、自分の目指す生き方のヒントが見えたりします。

オンラインでいろんな人とつながり視野が広がったことで、**自分の価値観に合うものやブランドの姿勢に共感できるものを生活に取り入れる**ようになりました。見た目や機能だけでなんとなく選ぶより、自分が「いい」と思えるもの・ことに出会えるとうれしくなります。

オンラインで出会った気の合う友達とゲームや映画を見ながらおしゃべりすることも無垢な自分に戻れる大切な時間です。

未来の顧客経験

- ・ 自己研鑽していくことがライフワーク
- ・ 価値観の合うブランドに囲まれる優越感
- ・ 一生涯のオンライン友達



強い自分になること（在宅から）

コロナ以前は、無意識に自分の周囲の人間関係やしぐらみにこだわっていましたが、リモートで越境するようなコミュニケーションを経ていくうちに、自然と海外へと視野が広がっていきました。

今では学業の傍ら、興味を持った海外企業へリモートでインターンに参加したり、専攻内容に興味を持った研究機関とやりとりをしたり「リモートなら自宅にいながらこんなすごい経験できる」という感覚を持っています。

これからもリモートを駆使して自分磨きとスキルを習得して、国内にいながら様々な国のプロジェクトに関われるような生き方ができればと考えています。

未来の顧客経験

- ・引きこもりグローバル活動家
- ・アウトプット至上主義
- ・世界との一体感

レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things



災いを克服してきた歴史

未来は過去とつながっている

変革による歪み

新しい企業の役割

災いを克服してきた歴史

Covid-19がもたらしたものは、決してマイナスの影響だけではない。これまで変わることのなかった古い慣習や社会秩序が壊され、新しい未来に向けての変革が進んだ。日本ではこれまでも様々な災害や困難を乗り越え、新たな暮らし方を築いてきた。Covid-19のマイナスインパクトへの対処ではなく、Covid-19を乗り越えてきた視点で見える未来をつくろう。



未来は過去とつながっている

コロナによって変化がもたらされたと言っても、全く新しいものの突然起こったわけではない。過去から引き継いできた価値観や元来持っていた考え方がCovid-19をきっかけに顕在化したという側面もある。未来を見据えるために、過去を振り返ろう。



変革による歪み

アフターコロナの急激なパラダイムシフトによって、歪みも生まれつつある。特に変化を追い風にできる人とそうでない人との格差が開いてきている。変わろうとする人への新しい選択肢を提供するのはもちろんのこと、変化に乗り遅れてしまうLaggardsへのアプローチも考えよう。



新しい企業の役割

人々や社会の変化とともに企業の役割も変わっていく。社会的な価値創造・価値実現の主導者となること、様々な人にとってのプラットフォームとなること、人々の学習や成長の場となること…などの役割が求められる。既存の企業のあり方だけを前提とするのではなく、新しい企業の役割やあり方を見出そう。





After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング

Making New Things アフターコロナビジョニング トレンドリサーチレポート
2020年8月発行

本資料の著作権は当社に帰属します。

複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等は原則として社内向けのみ可能です。

本レポート内容を転載・ご利用いただく場合は「株式会社mct アフターコロナビジョニング」の表記をお願いします。

本資料・プロジェクトに関するお問い合わせ http://media.mctinc.jp/after-covio19_visioning